

第1回 SPARC Japanセミナー 2016

オープンアクセスへの道 Roads to Open Access for Japan

2016年9月9日（金）13:00-16:40

国立情報学研究所 12階会議室

登壇者 (敬称略)

- 土屋 俊 (大学改革支援・学位授与機構)
- 尾城 孝一 (大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE)/東京大学附属図書館)

- 安達 淳 (国立情報学研究所)
- 荘司 雅之 (早稲田大学図書館)
- 坊農 秀雅 (情報・システム研究機構
ライフサイエンス統合データベースセンター)

学術雑誌の購読価格高騰を原因としたシリアルズクライシスへの対応として、大学図書館はコンソーシアムを組んで大手海外出版者を相手にビッグディールという包括的な契約方式を実現させ、同時に、機関リポジトリによる雑誌論文のオープンアクセス化とポリシー策定による組織内のルール化を行ってきた。

現在のオープンアクセス化の方法は、購読料支払いを前提に出版者サイトからアクセスコントロールされた論文公開に対し、機関リポジトリに出版された論文のコピーや著者最終稿を掲載して無料でアクセスさせるグリーンOA (open access) と呼ばれる方法と、APC (article processing charge) という論文加工料を著者が出版者に支払って、出版者が出版者サイトから論文を無料でアクセスさせるゴールドOA と呼ばれる方法が主流となっている。

2012年に英国政府がゴールドOAを主体としたフィンチレポートを実現

する意向を表明して以降、欧州ではオープンアクセスのあり方をめぐってグリーンOAとゴールドOAを2種とする議論が沸き起こっている。

英国内では、JISCは購読料とAPCが混在したハイブリッド誌のゴールドOA化を促し、機関の総支払額を抑えるオフセットシステムを導入したパイロット契約を実施している。オランダは自国の研究者が出版したシュプリングァーの2000誌の雑誌論文をゴールドOA化することを決定し、エルゼビアとも同様のOA化を約束した。欧州委員会は、“オープンサイエンスポリシープラットフォーム”を推進する中で、ゴールドOA化への道を探ることを含めている。素粒子物理学分野では、SCOAP³という名のもと、分野の主流な雑誌を対象にゴールドOA化するビジネスモデルを開発し、実施している。

一方で、セルフアーカイブを推奨し続けるスティープン・ハーナッドは、見境なくゴールドOA化を進めよ

うとしている現状に警鐘を鳴らし、COARはユネスコと共同で同様の声明を発表している。また、様々なステークホルダーは、急進的なゴールドOA化への懸念をブログ上に発信している。

このような状況の中で、我が国はどう振る舞うべきか。主要な学術雑誌の大半を欧州や米国のプラットフォームに依存している我が国は、欧州や米国のOA化への流れを避けて通ることを許されない。我が国にとっての、機関リポジトリの存在意義を見出してきたのと同様に、ゴールドOA化へのあり方の議論とその反動としてのグリーンOAへの回顧が必要である。

本セミナーでは、オープンアクセスに関心のある実務家や研究者が一堂に会し、オープンアクセス化のあり方と今後の日本の取り得るべき戦略を議論する。

主催：SPARC Japan (国立情報学研究所)



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所
National Institute of Informatics

プログラムおよび講演者 (敬称略)

13:00-13:05	開会
13:05-13:10	趣旨説明・司会 蔵川 圭 (国立情報学研究所)
13:10-13:35	オープンアクセスのあり方、グリーンOAとゴールドOA 土屋 俊 (大学改革支援・学位授与機構)
13:35-14:00	学術雑誌のキャッシュフロー転換の可能性を探る ～JUSTICE/SPARC Japan合同調査チームによる調査結果の概要～ 尾城 孝一 (大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)/東京大学附属図書館)
14:00-14:25	SCOAP ³ による学術誌のオープンアクセスへの転換 安達 淳 (国立情報学研究所)
14:25-14:40	大学図書館におけるオープンアクセスの取組み 荘司 雅之 (早稲田大学図書館)
14:40-15:05	生命科学分野における 研究者の投稿先雑誌選択趣向とOAへの意味づけ 坊農 秀雅 (情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター)
15:05-15:25	休憩
15:25-16:35	パネルディスカッション： グリーンOAとゴールドOAと日本としての対応 上記講演者+パネルモデレーター：山本 和雄 (琉球大学附属図書館)
16:35-16:40	閉会

URL: <http://www.nii.ac.jp/sparc/event/>
当日は動画中継を行う予定です。
詳細はWebサイトをご参照ください。

参加費：無料

参加申込：定員に達したため、受付は締め切りました。

お問合せ先：国立情報学研究所 学術基盤推進部

学術コンテンツ課支援チーム SPARC担当

E-mail: co_sparc_all@nii.ac.jp FAX:03-4212-2375

